

3

第3章

景観づくりの方向性

- 1 横浜らしい景観をつくるポイント
- 2 地域ごとの景観づくりの方向性

1 横浜らしい景観をつくるポイント

第3章では「第2章 景観を考える際の基本的事項」をふまえ、各地域において景観の将来像を考える際の基本的な方向性を示します。

今ある景観と調和しながら、新たな魅力となる「横浜らしい景観」を生み出していくために、景観づくりにおいて今後も大事な事項をポイントとしてまとめました。このポイントは複合的に重なり合うもので、いくつかのポイントを組み合わせた景観もあれば、1つのポイントに特化した景観も考えられます。各地域で大切にしたいポイントを共有しながら、景観づくりに取り組みます。

横浜らしい景観をつくる10のポイント

- ① 街の個性と調和の取れた魅力的な街並みの形成
- ② 安全で快適な歩行者空間の景観づくり
- ③ 歴史的景観資源の保全と活用による景観づくり
- ④ 水と緑の保全・活用と創出による景観づくり
- ⑤ 身近な生活空間での景観づくり
- ⑥ 人々の交流や賑わいの景観づくり
- ⑦ 街の個性を引き立たせる夜間景観
- ⑧ 周囲に比べ、高さや大きさのある建築物の景観的工夫
- ⑨ 屋外広告物の景観的配慮
- ⑩ 想像力がかきたたえられ、物語性が感じられる景観づくり

① 街の個性と調和の取れた魅力的な街並みの形成

街並みは所有者や権利者の異なる建物が連なって形成されています。建物を建てる際には、その場所の地形や歴史、周辺環境などから**街の個性や街並みの特徴を把握**し、建物外観の色彩や材質、建物高さ、壁面の位置、部分的な意匠、周辺建物との連続性、様々な位置からの見え方や後背地に与える影響等に配慮し、**調和のとれた魅力的な街並み**の形成を目指します。

また、橋梁などの構造物や連続性のある街路樹など、建物以外の**街並みを構成する要素も魅力的なもの**にすることを目指します。特に**公共施設の整備**にあたっては、良好な景観形成に向けた先導的な役割を果たすことを目指します。



② 安全で快適な歩行者空間の景観づくり

歩行者空間は街の景観の重要な構成要素です。歩道と建物敷地が一体となったゆとりある歩行者空間、休息し憩える小広場、美しく誰もが使いやすいストリートファニチャー^{*}の設置、電線類の地中化等による無電柱化、緑陰や彩りを与える緑や花の配置、公共サインの整備等によるユニバーサルデザインの推進など、**安全性に配慮**した上で道路状況に応じた**多様な工夫**を行い、**歩行者が安心して心地よさを感じられる歩行者空間**を目指します。



^{*}ストリートファニチャー…街灯・ベンチ・案内サイン・車止めなど、主に歩行者のために道路や広場に設置される街の中の「家具のような」施設の総称

③ 歴史的景観資源の保全と活用による景観づくり

歴史的・文化的価値の高い建造物や史跡、なりわいや生活により形成された文化的景観は、過去と現在を繋ぐ貴重な景観資源です。都心部の歴史を伝える洋風建築、往時の暮らしぶりを偲ばせる古民家・和風建築や洋館、都市発展の礎となった旧街道・橋梁やトンネル等の土木構造物などは、その全部もしくは一部を魅力的な施設として保全活用していきます。また、時を経て地域のシンボルとして親しみをもたれている建物や記念物なども、地域の個性となる魅力的な景観資源と言えます。これらを保全活用し、地域の景観づくりに生かしていくことを目指します。

さらに、歴史的景観資源の個性を尊重し、歴史的景観資源に配慮した街並みとなるよう、景観的な工夫を目指します。



瀬谷区



中区



中区

④ 水と緑の保全・活用と創出による景観づくり

緑の10大拠点など、まとまった樹林地や農地はもとより、川、池、斜面緑地、街路樹、緑道、公園等の都市における水と緑は、人々に潤いと安らぎを与える貴重な景観資源です。港などの水辺空間とまとまった緑の空間を保全し、新たな水と緑の空間の創出を継続的に行います。

水と緑の空間の質の高い維持管理や空間演出を日常的に行い、街の魅力形成・賑わいづくりにつなげます。自然の恵みと人の営みでつくられた里山、都心臨海部での海への眺望、川沿いの親水広場、地域のシンボルとして親しまれている樹木の保全、身近な緑や花の適切な植栽など、私たちに潤いと安らぎをもたらす水と緑を身近に感じられる景観づくりを目指します。



緑の10大拠点
(横浜市水と緑の基本計画より)



神奈川区



戸塚区



港北区

⑤ 身近な生活空間での景観づくり

住宅地や商店街など身近な生活空間で、庭先をきれいに整える、塀を生垣にする、目の前の道路を掃除するといった行動は、周囲に良い影響を与え、良好な景観づくりに発展する可能性を持っています。一方、放置されたごみ、味気のないブロック塀、雑草だらけの空き地、違法駐車や放置自転車など、身近な生活空間における**景観の問題は、私たち一人ひとりの意識や行動が表れた結果**です。**市民一人ひとりができることから行動を始める**ことで、各地域における**景観のルールづくりや身近な課題を地域で解決する取組**に発展し、良好な生活空間が形成されることを目指します。



⑥ 人々の交流や賑わいの景観づくり

人々が交流し、賑わう姿も魅力的な景観です。街にオープンスペースを広げ、街角や空き地に**憩える空間**を増やすことで、**地域コミュニティの集まる空間づくり**を推進します。建物低層部に楽しい活動の場や商業施設を配置し、外から室内の賑わいが見えるしつらえにするなど、建物内の人々の営みが街へにしみ出る景観づくりを推進します。歩道等を活用したオープンカフェの実施や野外パフォーマンスイベントにより**都市空間を演出する**など、**人々の交流や賑わいが新たに生み出される景観づくり**を推進します。

また、町内会や地域の**伝統的なお祭りなどを継続**することは、地域の人々が交流する機会をつくり、地域らしさを生みます。地域ならではの伝統的な営みを尊重した景観づくりを行うことを目指します。



⑦ 街の個性を引き立たせる夜間景観

夜間景観は、昼の横浜のイメージとはがらりと変わり、新たな魅力を引き出す重要な景観資源です。特に都心臨海部での夜間景観やライトアップされた歴史的建造物は、横浜を代表する景観です。街灯や建物の玄関照明などは**夜の歩行者に安心感**を与えると同時に、灯具の**デザインや光の色の調和**をとることで、**日常的に夜の街の雰囲気**を演出することができます。昼だけでなく夜の街並みについてもさらに魅力的になるよう、**地域の個性を引き立たせる印象的な夜間景観**づくりを目指します。



⑧ 周囲に比べ、高さや大きさのある建築物の景観的工夫

空を感じられる開放的な景観は私たち皆の共有物です。周囲に比べ高さや大きさのある建物を計画する際には、その土地の特性や様々な位置からの見え方などを十分に考慮し、建物の高さや大きさを含む**形状について検討**します。

さらに、総合的に**周辺環境に配慮**し貢献する計画を目指します。洗練された形態意匠、ゆとりある空地、身近に感じられる緑、賑わいの創出、地域で親しまれている施設や大切にしている景観の保全など、その地域で生活する人や計画する建物を使う**人々にとってより魅力的**になるよう景観的な工夫を行うことを目指します。



⑨ 屋外広告物の景観的配慮

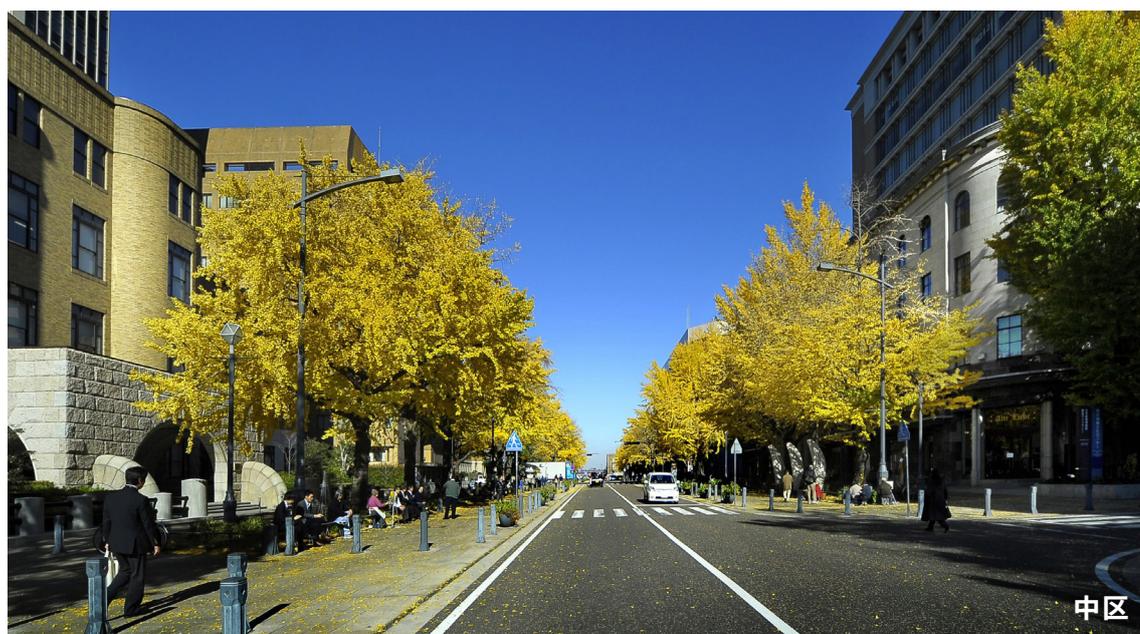
街にあふれる大規模な屋上看板や袖看板などの屋外広告物は、建物と同様に街並み景観に大きな影響を与えます。屋外広告物の意匠・形態・色彩等について景観的な配慮がなされることを目指します。また、特に街の景観に影響を与える映像広告等については、その内容についても景観的な配慮がなされることを目指します。

一方で、デザイン性が高くその場所の雰囲気によく調和した屋外広告物は、街をより个性的で魅力あふれるものにする力を秘めています。このような街の魅力となる広告物を推奨し、よりよい景観を目指します。



⑩ 想像力がかきたてられ、物語性が感じられる景観づくり

美しく整った景観は「良好な景観」の第一歩ですが、必ずしも「魅力的な景観」であるとは限りません。その土地、その場所にまつわる歴史や文化、人々の交流や賑わう姿は、重要な景観の要素です。これらの景観要素を総合的に生かすことにより、街の過去の姿や街で営む人々の物語が想像できるような、物語性が感じられる景観づくりを目指します。



2 地域ごとの景観づくりの方向性

横浜には地域ごとの歴史や風土、文化や伝統、人々の暮らし、技術や制度などを背景として形づくられてきた多様な景観が広がっています。横浜市全域の多様な景観を、景観の特徴ごとに分類した「横浜の景観構成図」を示します。さらに、分類したエリアの景観がイメージできる断面スケッチと、各エリアが今後目指す景観づくりの方向性をまとめています。景観づくりに取り組む地域に近いエリアを参照することで、市全体の中での景観的な位置づけや周辺地域との繋がりを把握でき、目指したい景観や身近な景観を考える手がかりとなります。

1. 横浜の景観の特徴

都市として広大な横浜の景観的特徴は、地形、歴史、都市機能、計画上の位置づけなどから大きく**6つのエリア**に分類できます。横浜ではモザイク状に景観が混ざりあい、それぞれのエリア内においても地域ごとに様子は異なります。また、面的なエリア以外に幹線道路や鉄道、河川などのように線的に地域をつなぐ景観要素もあり、多様な景観要素を有していることは横浜の景観の特徴といえます。

■ 臨海部

主に海に面した埋め立てにより産業立地が進められてきたところで、工業・物流などの用途を中心としたエリアです。

■ 都心部

開港以来、震災・戦災などで大きく街が変化してきた都心臨海部と、内陸部の新横浜都心からなり、商業・業務などの様々な機能が高密度に集積しているエリアです。

■ 高密度な既成市街地

概ね環状2号線より海側の高度経済成長期以前から市街化が進んでいたところで、昔ながらの商店街などを中心としながら住宅地がひろがるエリアです。

■ 郊外駅前および周辺

郊外部の駅を中心として開発が進められてきたところで、生活を支える商業や業務機能が集積した街の顔となるエリアです。

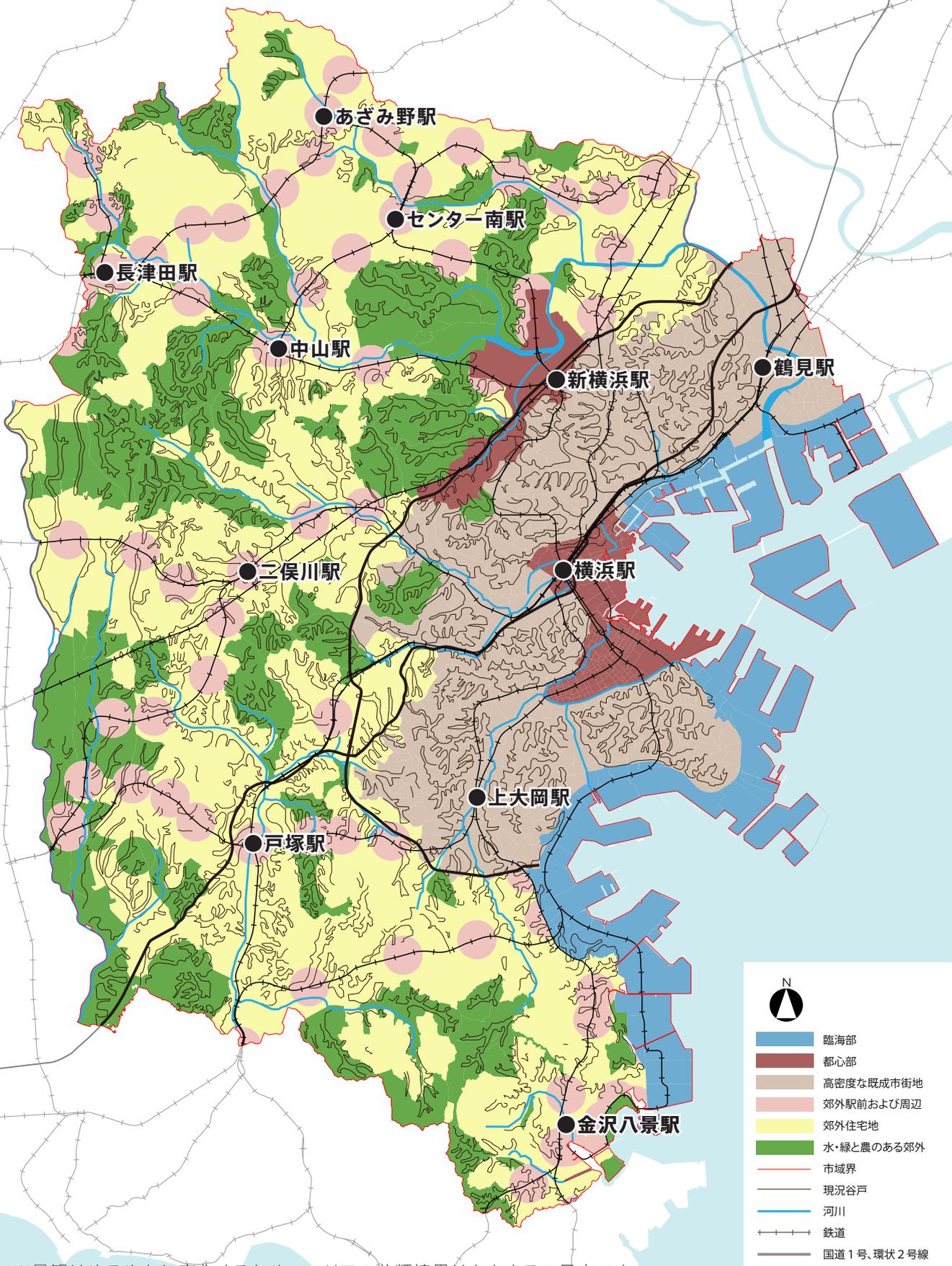
■ 郊外住宅地

郊外部の丘陵・台地を計画的に開発してつくられてきたところで、まとまりのある緑地を残しながら、戸建住宅地や集合住宅団地などがひろがるエリアです。

■ 水・緑と農のある郊外

高度経済成長期以降の開発から保全されてきたところで、丘陵・台地・河川後背地に面的に緑地や農地がひろがるエリアです。

横浜の景観構成図



※景観はゆるやかに変化するため、エリアの分類境界はおおよその目安です。

2. 各地域における景観づくりの方向性

ここでは、6つのエリアの景観構成要素や特徴にあわせて、各エリアでイメージされる代表的な断面スケッチと、景観づくりの方向性を示します。目指したい景観や身近な景観づくりを考える際には、景観づくりに取り組む場所のイメージに近い断面スケッチと、「地域ごとの景観づくりの方向性」が景観を考える手がかりとなります。

なお、「横浜らしい景観をつくる10のポイント」と合わせて、地域ならではのアピールポイントを考えることが大切です。

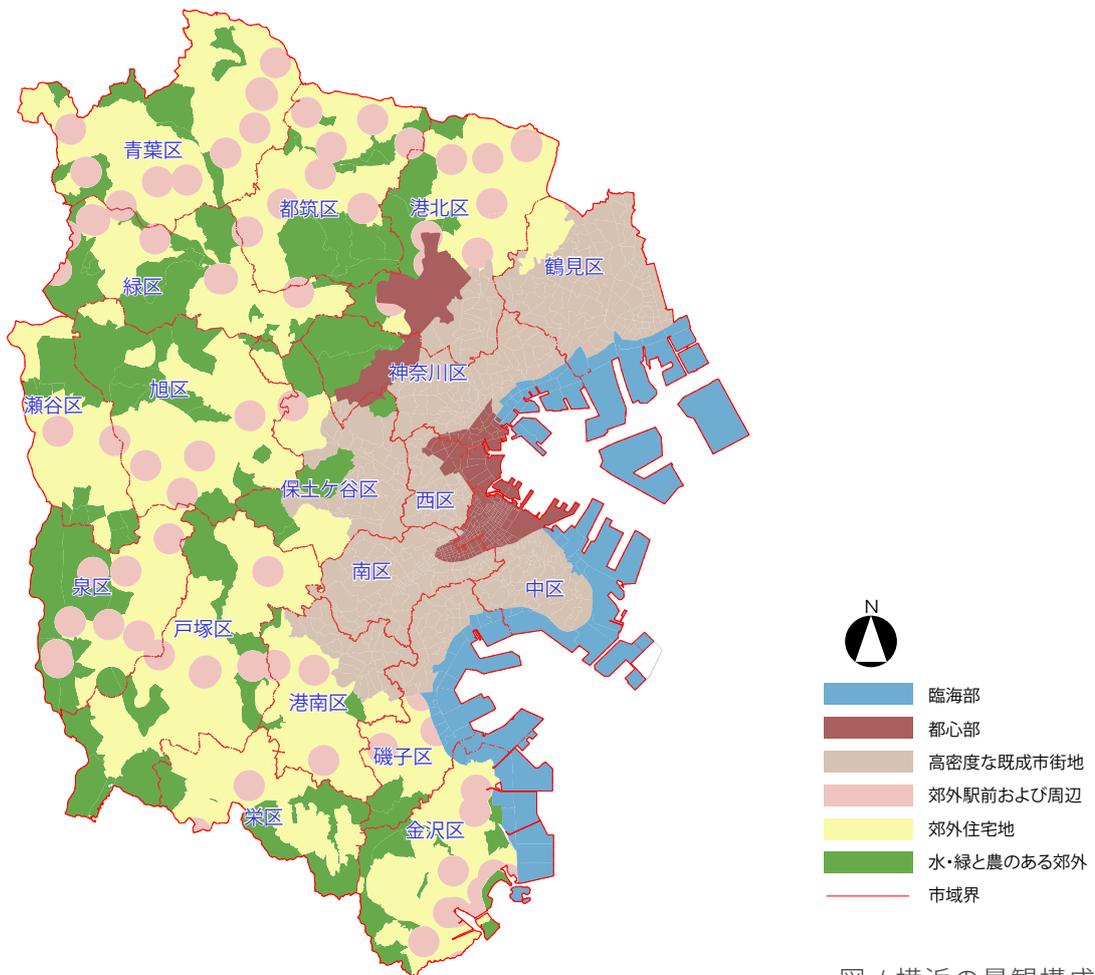
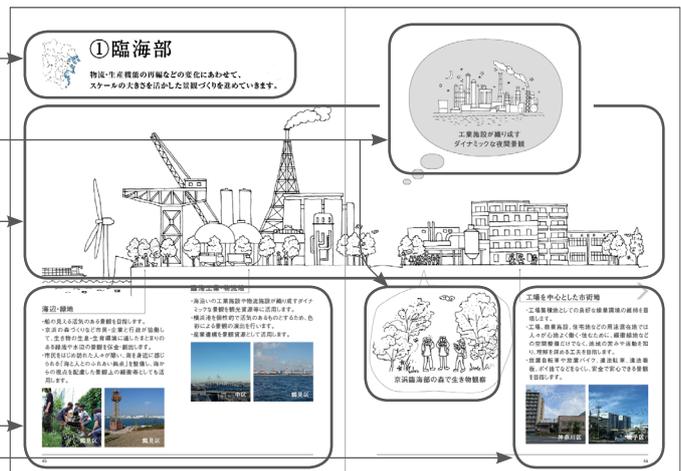


図 / 横浜の景観構成図

読み方

- ◆ エリアの名称と景観づくりの方向性
- ◆ 地域で想定される活動のイメージ(例)
- ◆ 断面スケッチ
エリアを構成する空間や営みの
代表的なイメージ
- ◆ 地域ごとの景観づくりの方向性と
想定される地域の現況写真



① 臨海部 スケールの大きさをいかした景観づくり



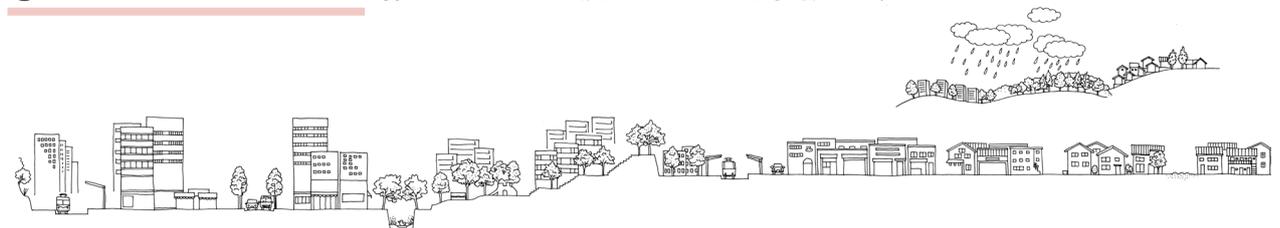
② 都心部 横浜の顔となる景観づくり



③ 高密度な既成市街地 親しみのある景観づくり



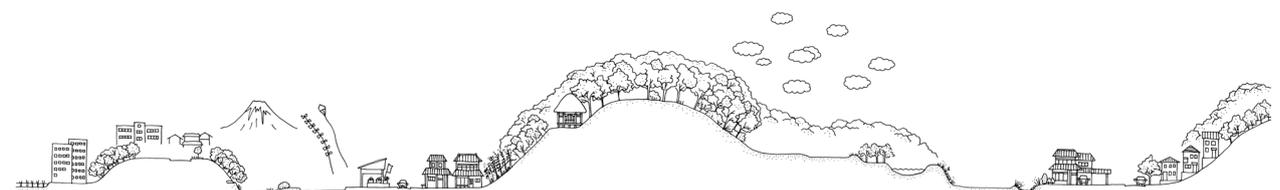
④ 郊外駅前および周辺 様々な人の交流をいかした景観づくり

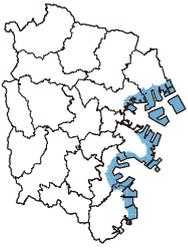


⑤ 郊外住宅地 様々な街の使い方による身近な景観づくり



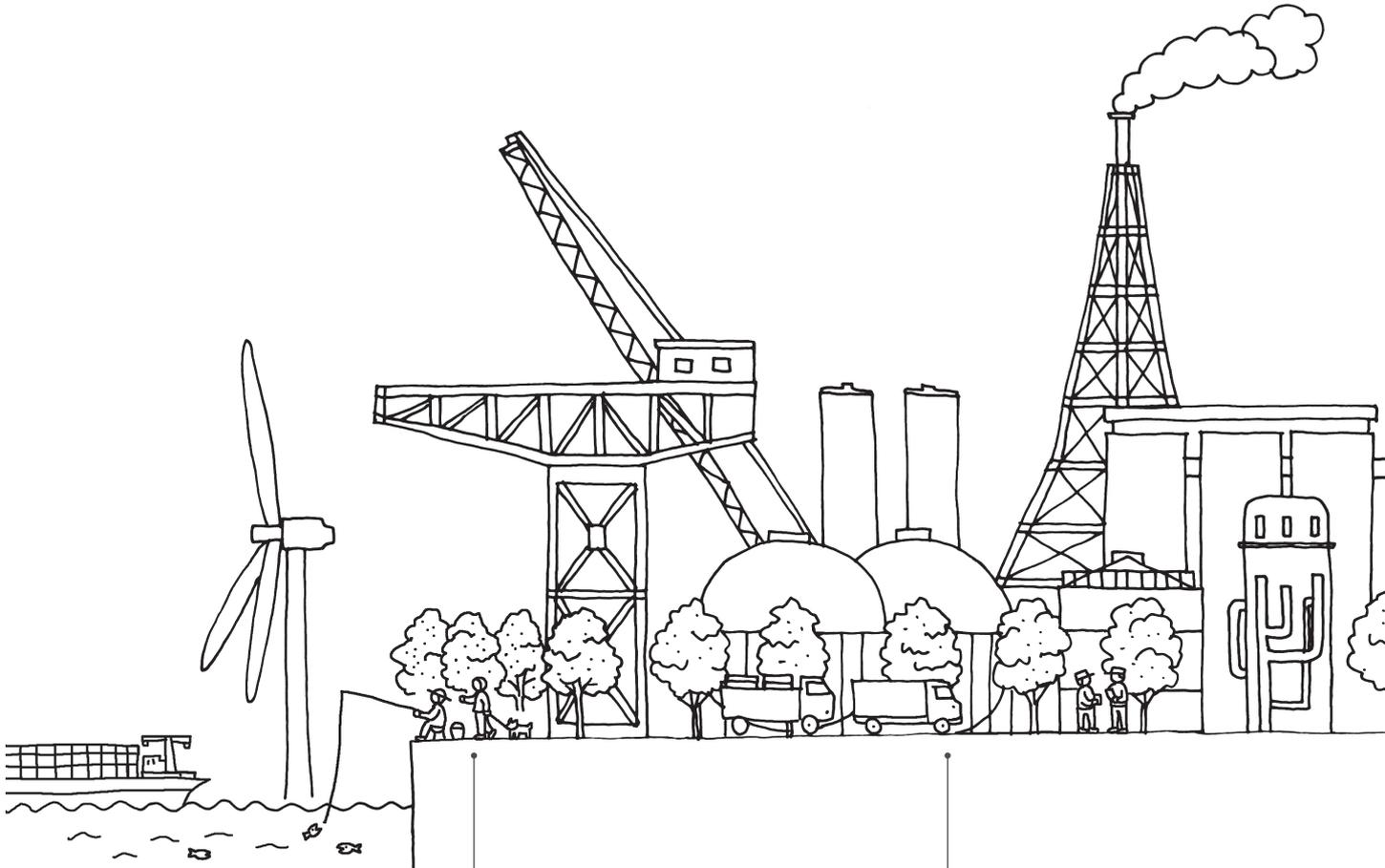
⑥ 水・緑と農のある郊外 水・緑や農とのふれあいを通した景観づくり





① 臨海部

物流・生産機能の再編などの変化にあわせて、
スケールの大きさをいかした景観づくりを進めていきます。



海辺・緑地

- ・船の見える活気のある景観を目指します。
- ・京浜の森づくりなど市民・企業と行政が協働して、生き物の生息・生育環境に適したまとまりのある緑地や水辺の景観を保全・創出します。
- ・市民をはじめ訪れた人々が憩い、海を身近に感じられる「海と人とのふれあい拠点」を整備し、海からの視点を配慮した景観上の緩衝帯としても活用します。

臨海工業・物流地

- ・海沿いの工業施設や物流施設が織り成すダイナミックな景観を観光資源等に活用します。
- ・横浜港を個性的で活気のあるものとするため、色彩による景観の演出を行います。
- ・産業遺構を景観資源として活用します。



鶴見区



鶴見区



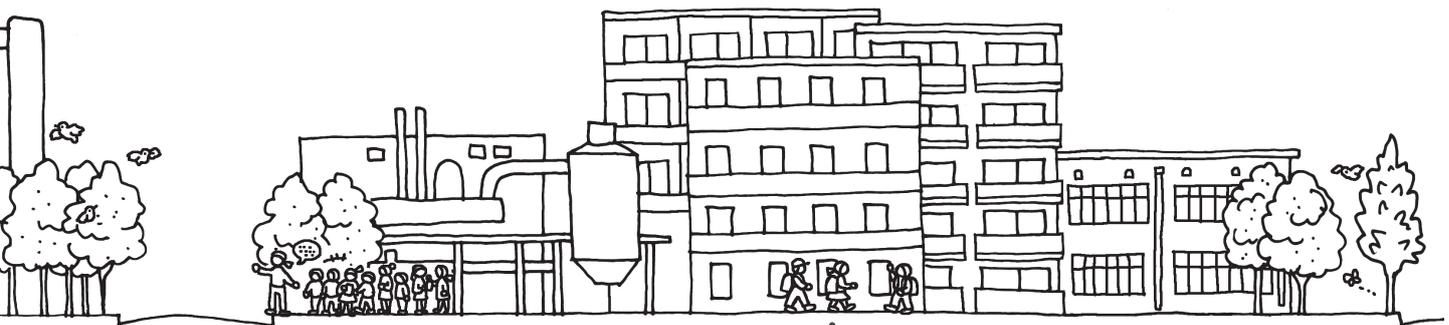
中区



鶴見区



工業施設が織り成す
ダイナミックな夜間景観



京浜臨海部の森で生き物観察

工場を中心とした市街地

- ・工場集積地としての良好な操業環境の維持を目指します。
- ・工場、商業施設、住宅地などの用途混在地では人々が心地よく働く・住むために、緩衝緑地などの空間整備だけでなく、地域の営みや活動を知り、理解を深める工夫を目指します。
- ・放置自転車や放置バイク、違法駐車、違法看板、ポイ捨てなどをなくし、安全で安心できる景観を目指します。





鉢植えなどの身近な花や
緑がある縁側で立ち話



住宅地

- ・海から印象的な市街地が見られる景観を目指します。
- ・空き地や空き家を地域の人々が集まれる空間に活用するなど、住宅地の景観の維持向上を目指します。
- ・水辺との近さをいかし、身近に自然を感じられる景観を目指します。
- ・花や緑を増やすなど、出歩く楽しさのある景観を目指します。





川辺

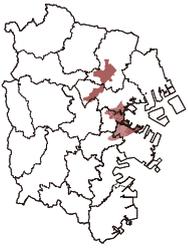
- ・連続したオープンスペース等をいかし、見通しなどの眺望を考慮した景観をつくります。
- ・川辺を挟んだ両側の地域がお互いに見る・見られる関係にあることに配慮して、景観向上を図ります。
- ・自然的資源をいかし、季節感のある景観をつくります。
- ・河川の水質改善などを通して、水辺に親しみを持つことができる魅力ある景観をつくります。



神奈川区

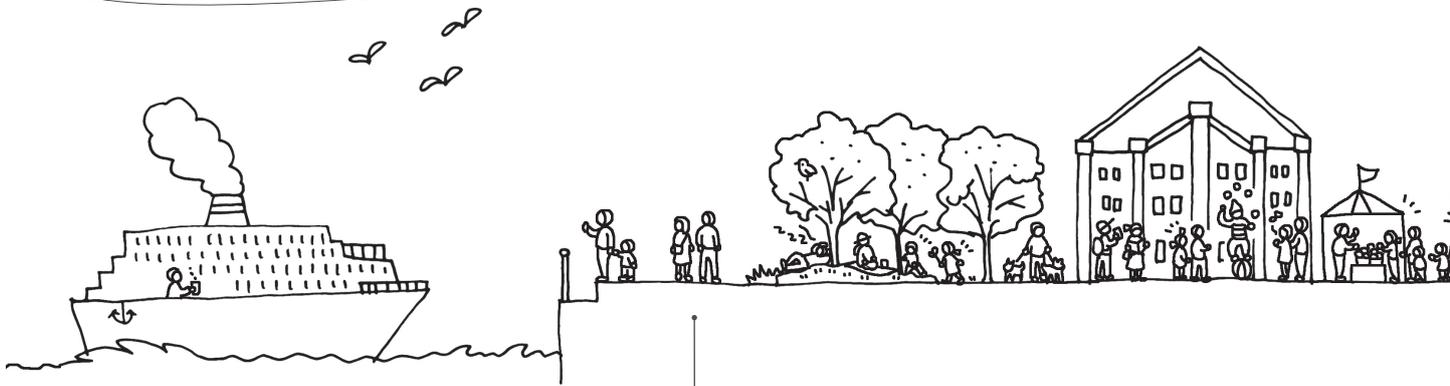
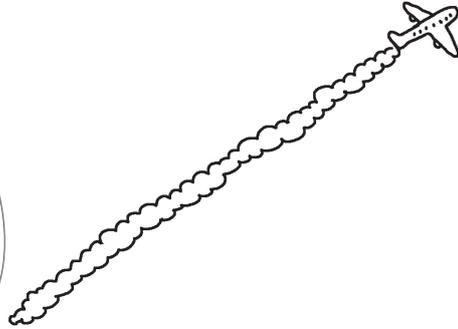


鶴見区



② 都心部

多様な人々の交流や街の活力を生む横浜の顔として、都心臨海部と新横浜都心の2大拠点の景観づくりを進めていきます。



都心臨海部

- ・開港以来の本物が残る歴史資源や文化資源を生かし、印象的な景観をつくります。
- ・海と人とのふれあい拠点を整備するなど、港や水際線を身近に感じられる景観をつくります。
- ・商業施設や住宅地などの多様な施設が共生し、横浜を代表する美しい景観を目指します。
- ・働く、遊ぶなど人々の活発な活動が街に表れ、賑わいや楽しさの見える景観をつくります。
- ・海や周辺地域からの景観を意識した魅力的な街並みを目指します。



中区



中区

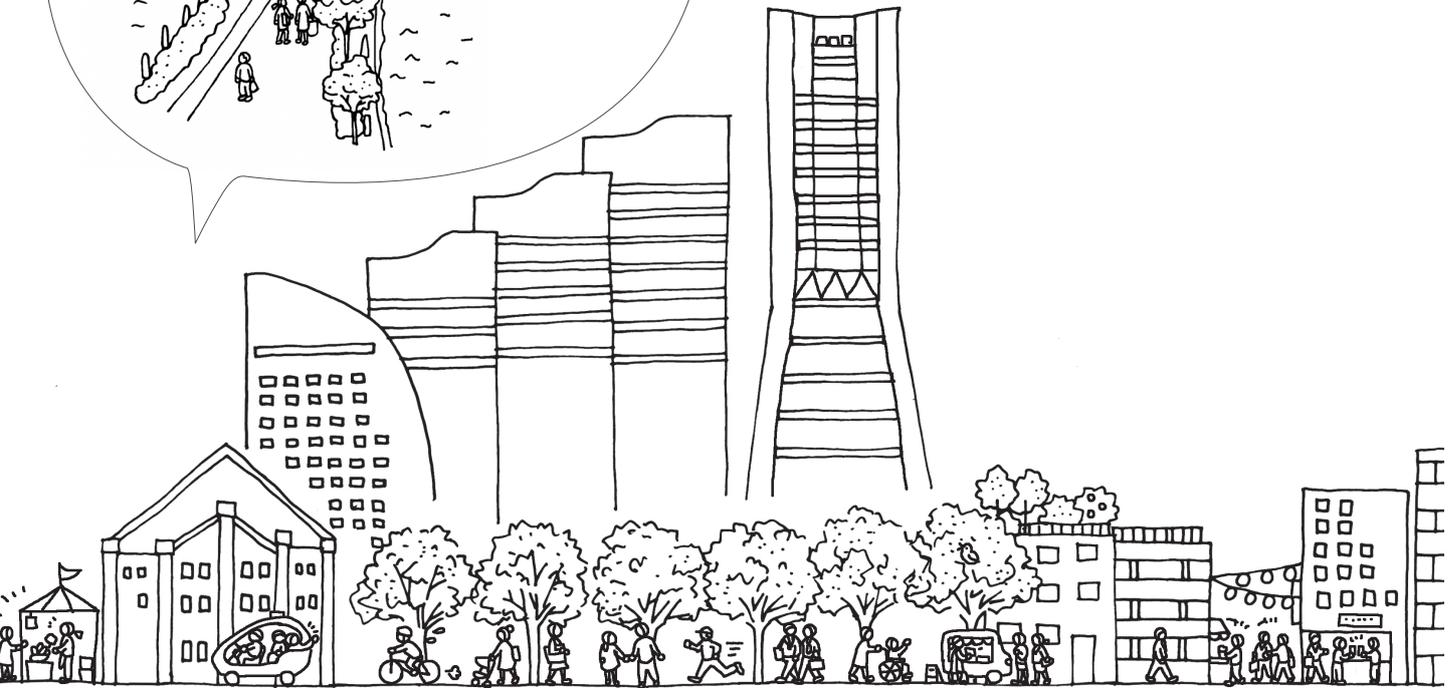
みなとみらい21新港地区

- ・海に向かって開放的で居心地のよいみなと景観をつくります。
- ・赤レンガ倉庫への見通しやまとまりのある街並みなどの、歴史を継承した景観を守ります。
- ・“島”としての個性をいかし、歩いて楽しい、賑わいのある景観をつくります。
- ・ふ頭などにおける土地利用転換の機会を捉え、これまでの都心臨海部の歴史をいかしながら、横浜の魅力を高める象徴的な緑の創出やその維持管理・活用を図ります。



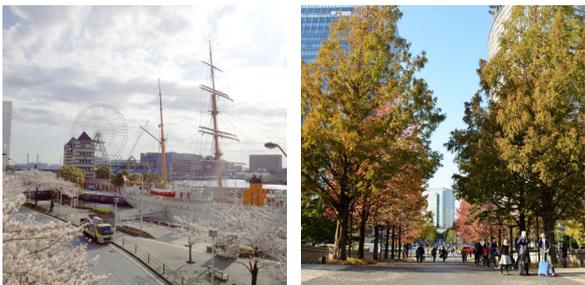


歩いて楽しい
プロムナードで
季節を感じる



みなとみらい21中央地区

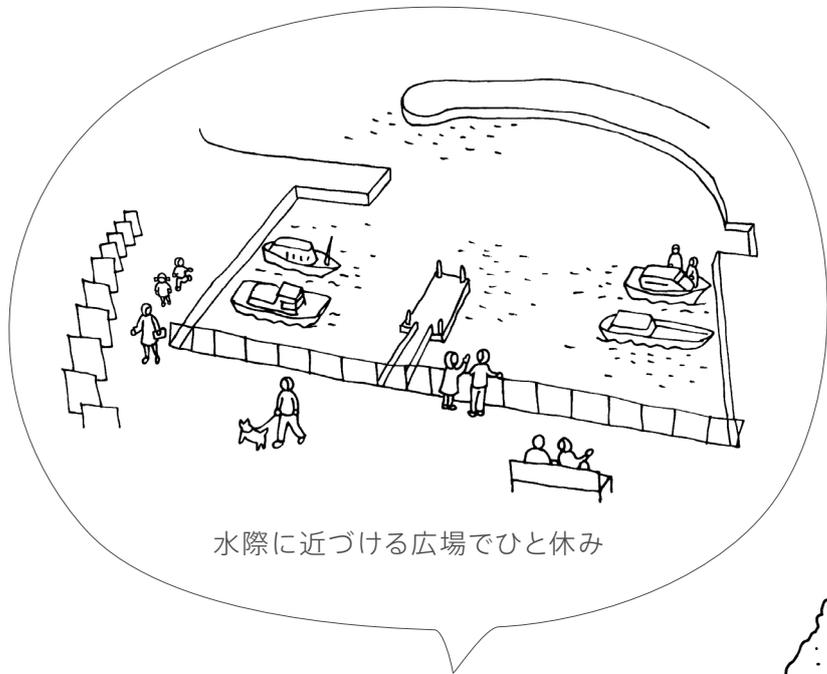
- ・多様で先進的な都市機能が集積する、賑わいと活力のある景観を目指します。
- ・港、水辺といった地区独特の魅力を感じられる場所や、都市空間のやすらぎである緑をまちづくりの中で創出し、緑の成長を考慮した豊かな緑空間を積極的に増やすことを目指します。
- ・キング軸など地区を代表する風格ある通りの景観を創出し、横浜の顔となる街並みを目指します。
- ・横浜を代表する質の高い夜間景観を目指します。



横浜駅周辺地区

- ・駅前広場などの公共空間を横浜らしいデザイン性にすぐれたものとし、横浜の玄関口にふさわしい印象的な景観をつくります。
- ・河川沿いの親水空間や昔からある多彩な飲食店等の魅力をいかした景観づくりを目指します。
- ・業務、商業、文化、観光などに関連する高密度な機能集積を強化しながら、わかりやすく快適な歩行者空間を整備し、人々の交流や回遊による賑わいのある景観を目指します。
- ・水と風と緑を感じ、うるおいあるまちづくりを目指します。





水際に近づける広場でひと休み



関内地区

- ・連続的な建物の壁面後退や、ゆとりと賑わいのある歩行者空間の創出などにより、歩いて楽しめる景観をつくります。
- ・関内地区の街並みの特徴をいかし、ミナト横浜を感じる眺望が楽しめる景観をつくります。
- ・開港の歴史や文化の蓄積を生かしながら新しい文化を生み出す景観をつくります。
- ・多様な都市機能がコンパクトに複合する、活力ある景観をつくります。



関外地区

- ・大通り公園や大岡川沿岸に街の軸となる連続した緑豊かな景観をつくります。
- ・河川や公園等の公共空間を活用した賑わいのある景観をつくります。
- ・建物低層部の賑わい施設の誘導や、アートや大道芸など地域で取り組む賑わいづくりにより、活気のある景観をつくります。
- ・古き良き居酒屋街、賑わいのある商店街やゆとりのある緑地・河川を回遊して楽しむことのできる景観をつくります。

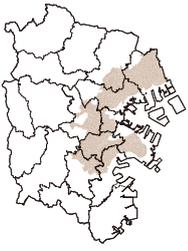




新横浜都心

- ・横浜の陸の玄関口として都心らしい印象を与える活力と賑わいのある景観をつくります。
- ・職、遊、住、文化、スポーツなどの機能が複合した多様な景観をつくります。
- ・鶴見川と鳥山川の空間的な広がりや水辺環境をいかした景観をつくります。
- ・起伏に富んだ丘陵地の景観を守ります。
- ・市街地と大規模な農地が隣接する特徴をいかし、自然環境を身近に感じる景観をつくります。
- ・花や緑などによる、散歩に出かけたくなるような、歩いて楽しめる景観をつくります。





③ 高密度な既成市街地

親しみのある街並みや高低差をいかした景観づくりを進めていきます。



駅前・駅周辺

- ・街の玄関口としてその街の個性が見える景観を目指します。
- ・駅前広場や公共施設だけでなく、駅前商業施設などの視認性の高い場所で緑化を進め、市民が実感できる緑の景観をつくります。
- ・放置自転車や放置バイク、違法駐車、違法看板、ポイ捨てなどをなくし、安全で安心できる景観を目指します。
- ・公共施設のデザインの工夫等により、地域の人々が愛着を持てる景観づくりを目指します。



南区



港南区



高台からの街の
シンボルへの眺望



古くからの商店街

- ・下町的な商店街の賑わいや温かみを感じられる街並み景観を目指します。
- ・多様な歴史的資源や地域資源を読み取り、地区の景観づくりに生かします。
- ・花や緑を増やすなど、出歩く楽しさのある景観をつくります。

幹線道路沿道

- ・丘への眺めや道路からの見通しなど、眺望を考慮した景観をつくります。
- ・道路の見通しを阻害しないよう、支障物件のない景観をつくります。



神奈川区



保土ヶ谷区



西区



神奈川区

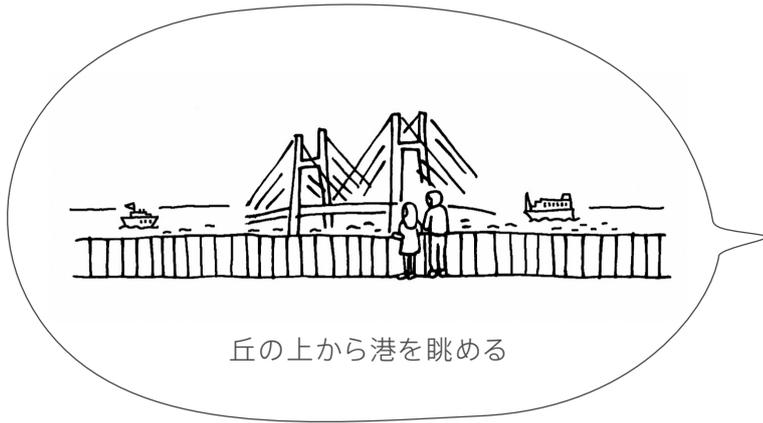


高密度な住宅地

- ・港や市街地、遠景への眺望を景観づくりにいかします。
- ・横浜の特徴でもある坂道のある街並みを楽しめる景観づくりを目指します。
- ・宅地内の緑や斜面緑地をいかした緑豊かな景観をつくります。
- ・樹林地や公園、街路樹などを良好に維持し、歩いて楽しい街の景観をつくります。
- ・市街地に残る農地を農体験の場などとして活用しながら、身近な農景観を保全します。
- ・地域のまちづくりの制度なども活用しながら住宅地ごとに特色のある景観をつくります。



③ 高密度な既成市街地



緑地・社寺の多い地域

- ・散歩道や展望スポットの整備などにより眺望を楽しむことのできる景観をつくります。
- ・まとまりのある緑を保全し、生物多様性や四季の変化を感じる景観をつくります。
- ・斜面緑地などの緑を守り、平地部から眺められる丘の緑の景観を保全します。
- ・社寺や古道などの歴史的資源と自然が一体となった地域固有の景観を守ります。



西区



保土ヶ谷区

山手地区

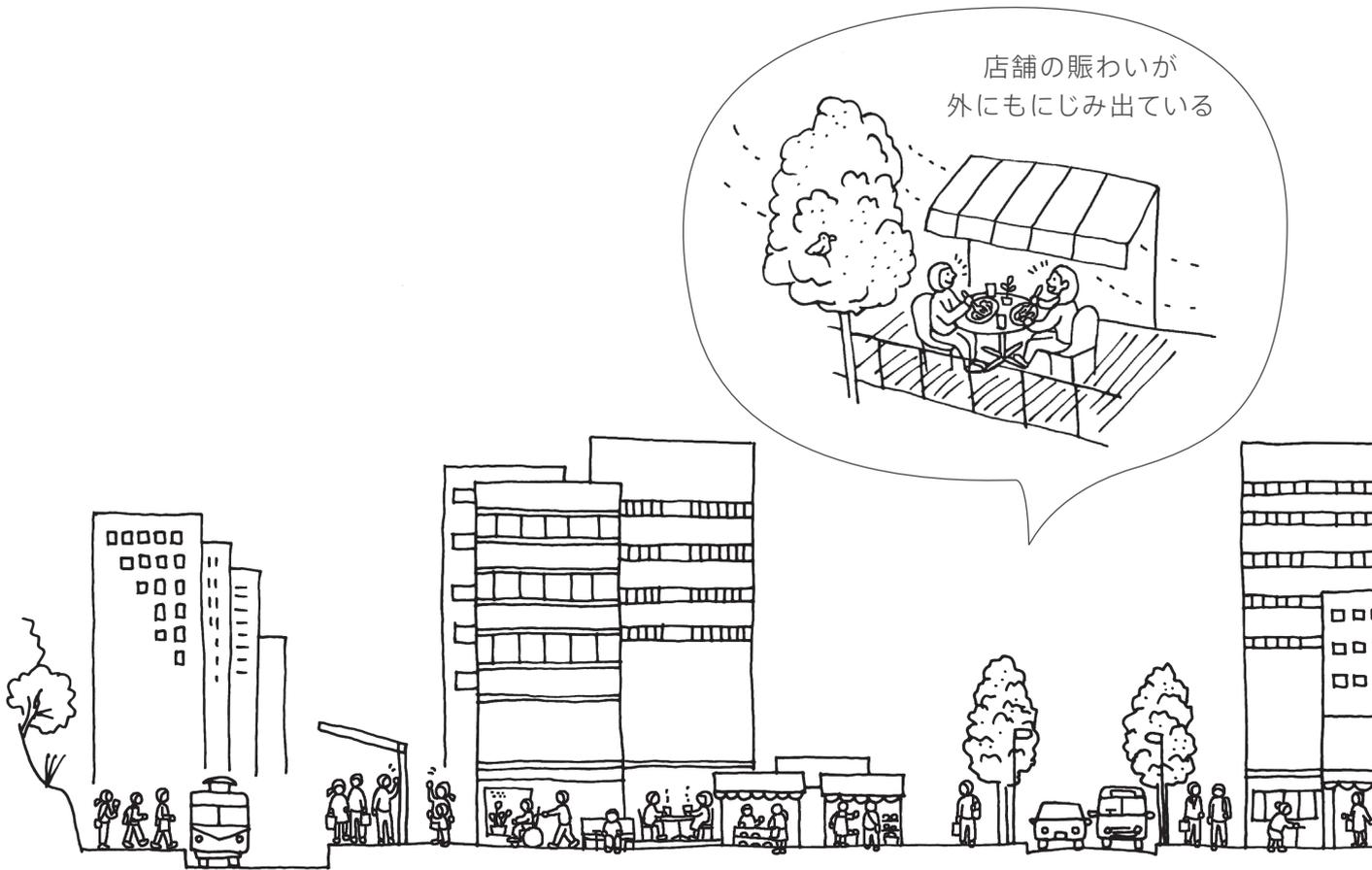
- ・海からの眺望の背景となる山手の崖線の緑地を景観づくりにいかします。
- ・港の見える丘公園などから港への眺望に配慮した景観づくりを目指します。
- ・居留地時代からのゆとりある敷地と豊かな緑をもった街並み景観を継承します。
- ・西洋館などの歴史的建造物、地区に特徴的なブラフ積み擁壁の景観やヒマラヤスギを保全するなど、歴史を感じられる景観を守ります。
- ・西洋館や公園などを結ぶ石畳の通りが醸し出す異国情緒を、ゆっくり歩いて楽しむことができる景観を目指します。
- ・商業施設の立地や屋外広告物の掲出を最小限にとどめ、住環境に配慮した景観をつくります。





④ 郊外駅前および周辺

地域住民が街への誇りや愛着を深め、来街者と共に賑わうなど、様々な人の交流をいかした景観づくりを進めていきます。

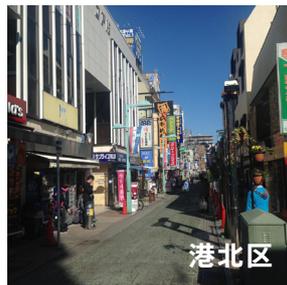


駅勢圏の大きな生活拠点駅前

- ・周辺地域から人が集まる拠点として地域の自然、歴史、文化などを生かした特徴のある景観をつくります。
- ・商業的な賑わいと街並みとの調和を考慮した景観を目指します。
- ・公共空間の積極的な利活用により、賑わいのある景観をつくります。
- ・駅前広場や公共施設だけでなく、駅前商業施設などの視認性の高い場所で緑化を進め、市民が実感できる緑の景観をつくります。
- ・放置自転車や放置バイク、違法駐車、違法看板、ポイ捨てなどをなくし、安全で安心できる景観を目指します。



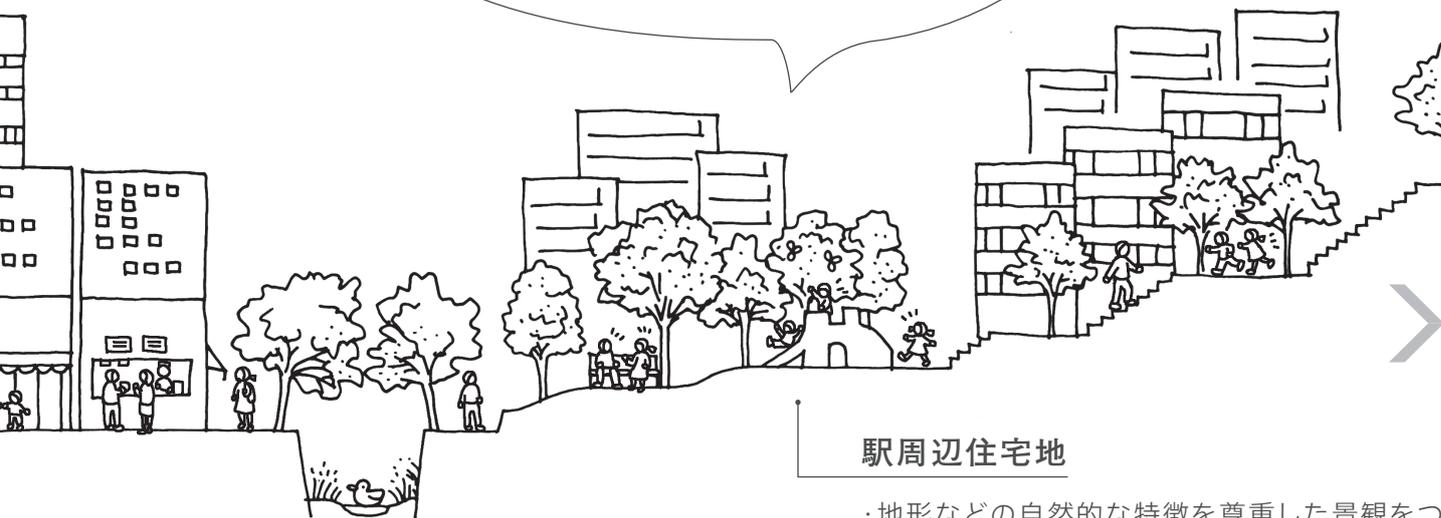
青葉区



港北区



公共空間や空き地をいかし、
地域の住民が集まれるイベント等の開催



駅周辺住宅地

- ・地形などの自然的な特徴を尊重した景観をつくれます。
- ・地域のまちづくりの制度なども活用しながら住宅地ごとに特色のある景観をつくれます。
- ・空き地や空き家を利用した貸しスペースの設置など、住宅地の景観の維持向上を目指します。
- ・駅まで快適に楽しく歩くことのできる景観づくりを目指します。
- ・商業や業務機能と住環境が複合した多様な景観をつくれます。

幹線道路沿道

- ・道路沿いの大型店舗と周辺とのバランスに配慮した景観を目指します。
- ・季節感のある並木の工夫などにより、潤いや連続性のある景観をつくれます。



港北区



戸塚区



戸塚区



栄区



駅前の商店街は買物客で
いつも賑わっている

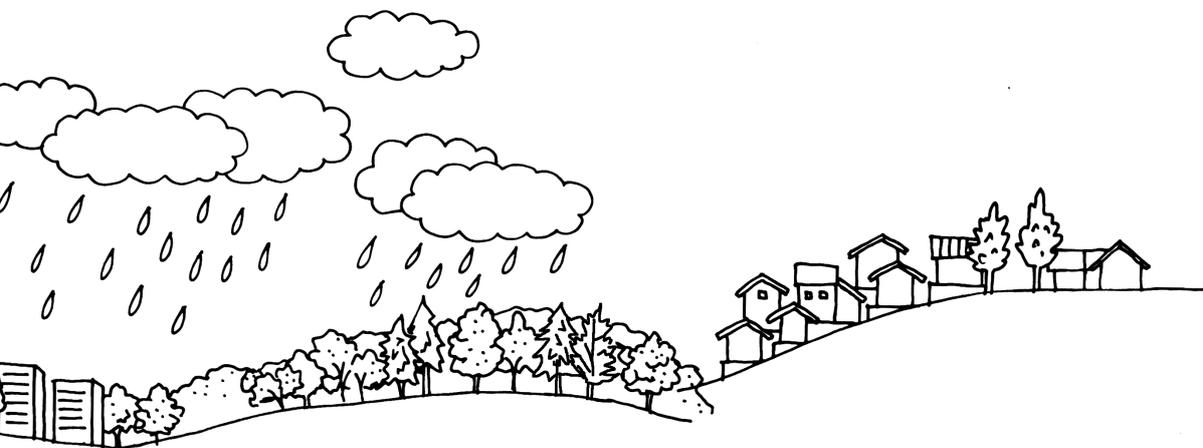


駅勢圏の小さな生活拠点駅前

- ・身近な生活拠点として日常的な賑わいと温かみを感じられる景観を目指します。
- ・放置自転車や放置バイク、違法駐車、違法看板、ポイ捨てなどをなくし、安全で安心できる景観を目指します。
- ・公共空間の積極的な利活用により、賑わいのある景観をつくります。
- ・地域の自然や歴史、文化などを生かした愛着を育む景観を目指します。



④ 郊外駅前および周辺



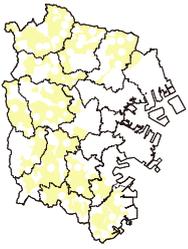
庭先の植物等も
コミュニケーションツール!



金沢八景・金沢文庫周辺地区

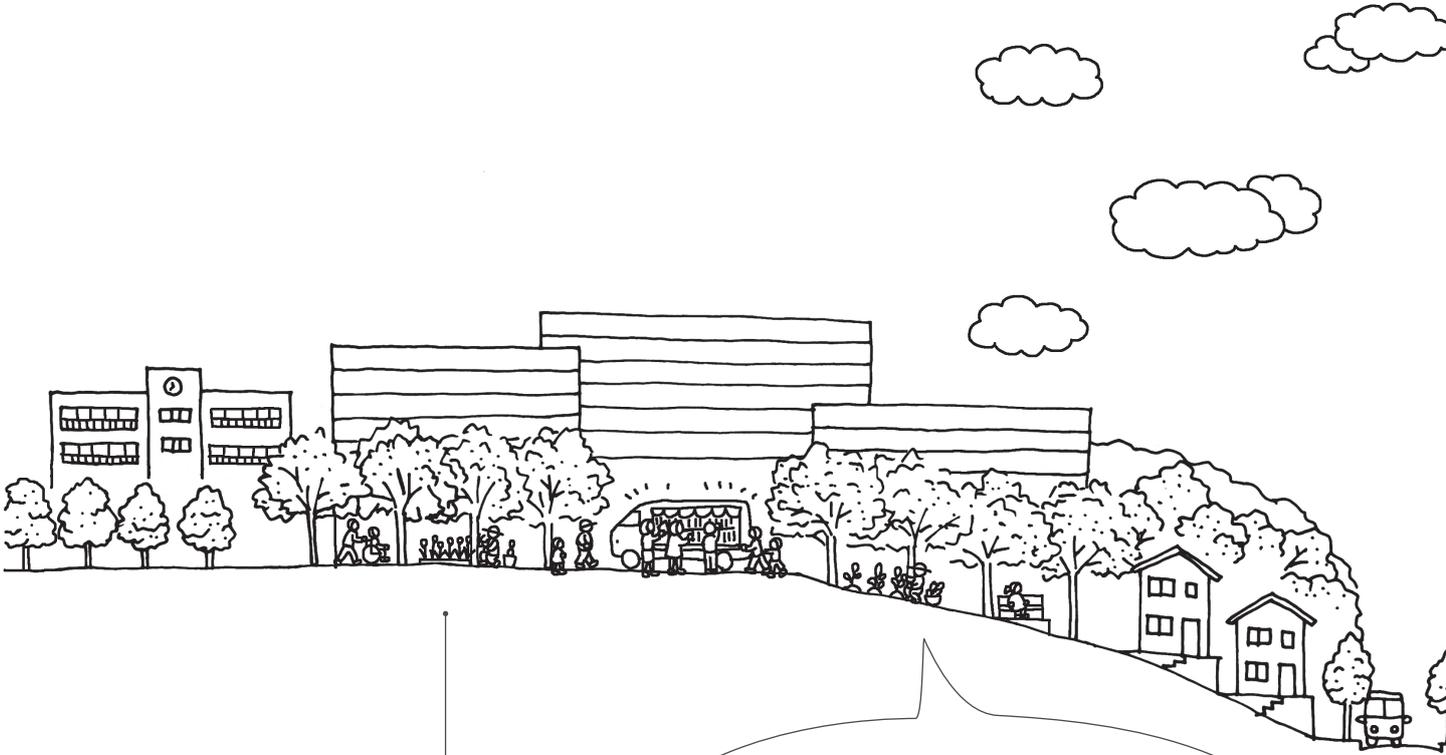
- ・入り海の名残や御伊勢山・権現山、称名寺をはじめとした、水や緑、歴史などの地域固有の景観を保全します。
- ・鎌倉文化を受け継いだ歴史資産を生かし、観光や交流の場となる趣のある街並み景観をつくれます。
- ・街の背景やアイストップとなる急峻な地形に残る連続した斜面緑地を、地域の景観資源として守ります。





⑤ 郊外住宅地

年代や生活スタイルにあわせた、様々な街の使い方による身近な景観づくりを進めていきます。



大規模な集合住宅地

- ・整った街並みと緑豊かな環境、身近な商店街等を最大限にいかし、地域の人々が集いたくなる景観をつくります。
- ・市民活動を通して、樹林地や公園、街路樹などを良好に維持し、歩いて楽しい街の景観をつくります。

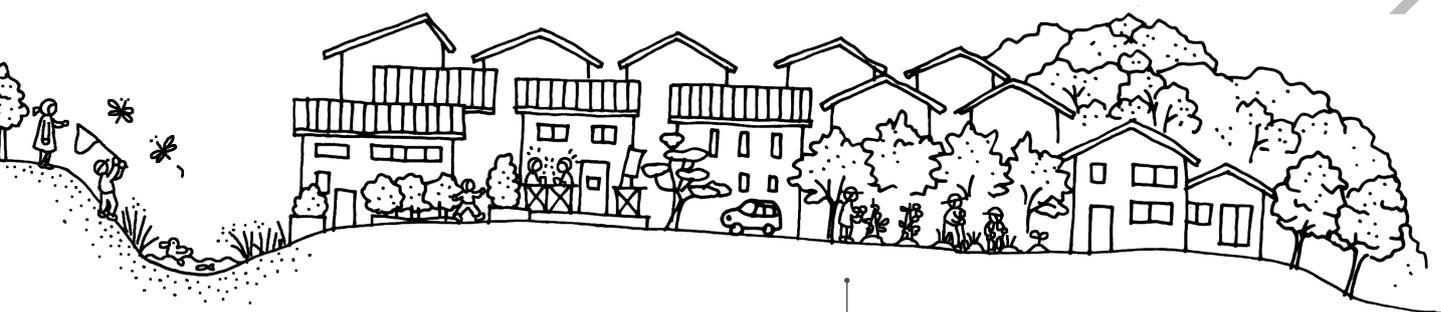
夏のお祭りなどで近所の人がたくさん集まる団地の広場や公園



磯子区



旭区



川辺・緑地

- ・河川敷等を遊歩道や親水拠点として活用して緑や憩いの場をつないでいくなど、心地よい景観をつくります。
- ・生き物の生息・生育環境に適した、まとまりのある緑地や水辺の景観を保全します。
- ・斜面緑地などの緑を守り、平地部から眺められる丘の緑の景観を保全します。



大規模な開発等による戸建住宅地

- ・自然的資源をいかし、季節感のある景観をつくります。
- ・宅地内の生垣や道路の街路樹など、民有地と公共用地で緑を感じることでできる景観をつくります。
- ・地域のまちづくりの制度なども活用しながら住宅地ごとに特色のある景観をつくります。





用途が混在した市街地

- ・大型店舗、物流施設など大規模な施設をつくる場合は、突出したものとならないよう周辺の景観に配慮します。
- ・丘への視界の広がりや道路からの見通しなどの眺望を景観づくりにいかします。
- ・放置自転車や放置バイク、違法駐車、違法看板、ポイ捨てなどをなくし、安全で安心できる景観を目指します。
- ・市街地に隣接する農地を農体験の場などとして活用しつつ、身近な農景観を保全します。



⑤ 郊外住宅地



菜園で近所の人や農家と交流



港北ニュータウン地区

- ・グリーンマトリックスシステム[※]を中心とした、地区全域に水と緑が連続する景観を保全します。
- ・開発前から残る斜面緑地など民有地内緑地を保全し、ふるさとをしのぼせる景観を守ります。
- ・ゆとりある宅地に調和のとれた建物と豊かな緑を誘導し、良好な住宅地の景観をつくります。
- ・商業・業務機能が集積したタウンセンターや、大規模敷地に立地する研究所、事務所等の核的施設など、本地区の理念である多機能複合都市が形成された景観を維持します。

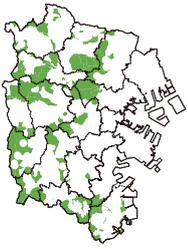
※グリーンマトリックスシステム…まちづくりの基本方針をもとに地区内の緑道を骨格として、公園や民有地の斜面樹林などを連結させたオープンスペース計画



住宅地

- ・地形や敷地、建物の特性にあわせ、その地域らしい快適な住環境をもたらす景観を守ります。
- ・建物の形態や色相などの統一により、街並みとして調和のとれた景観をつくります。
- ・整った街並みと緑豊かな環境を最大限にいかし、地域の人々が集いたくなる景観をつくります。





⑥ 水・緑と農のある郊外

身近にある自然環境を実感できる、
水・緑や農とのふれあいを通した景観づくりを進めていきます。



市街地に入り組んで存在する緑地・農地

- ・豊富な自然資源や社寺等の歴史資源を生かし、楽しみながら巡ることのできる景観を目指します。
- ・地域の交流や活動を生み出していくよう、緑地や農地をいかした景観づくりを行います。
- ・不法投棄やポイ捨て、違法駐車、違法看板などのない、安全で安心できる景観を目指します。
- ・大きな土地利用等がある場合は、既存の緑地・農地及びそれらで営む人々に配慮し、周囲と調和する景観づくりを目指します。



公共施設も地域の活動の場



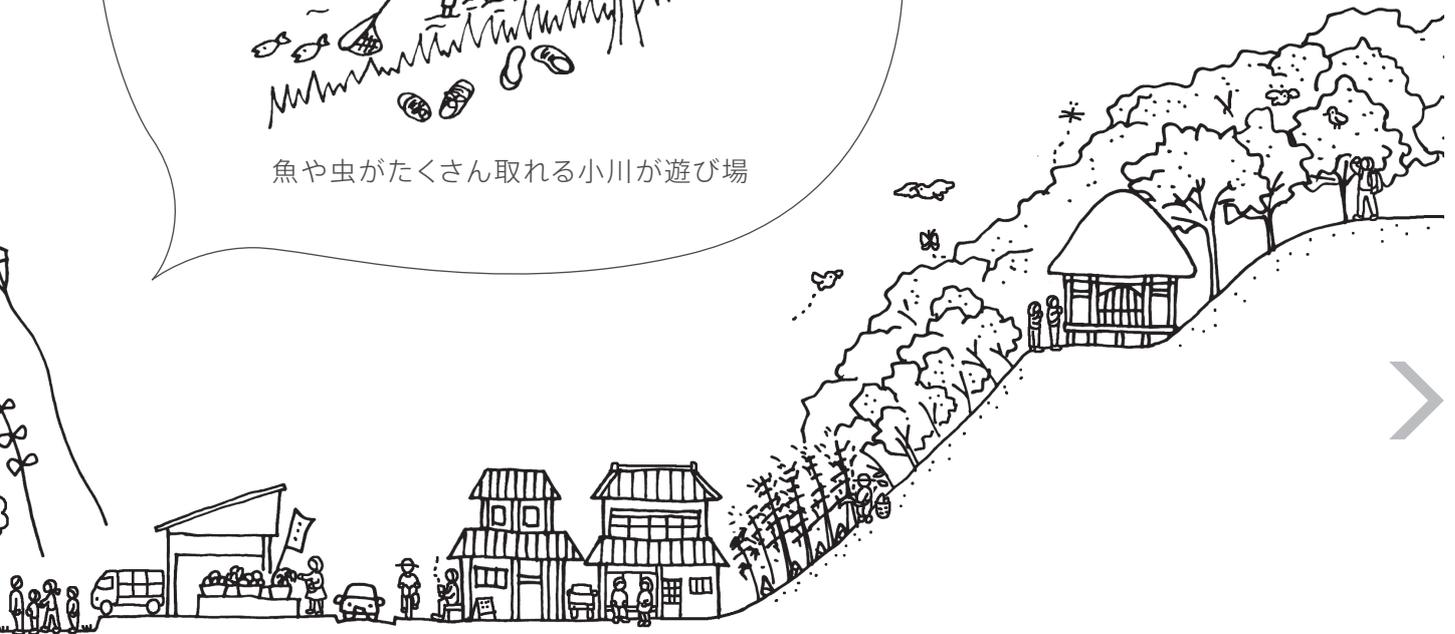
泉区



神奈川区



魚や虫がたくさん取れる小川が遊び場



里山・川辺

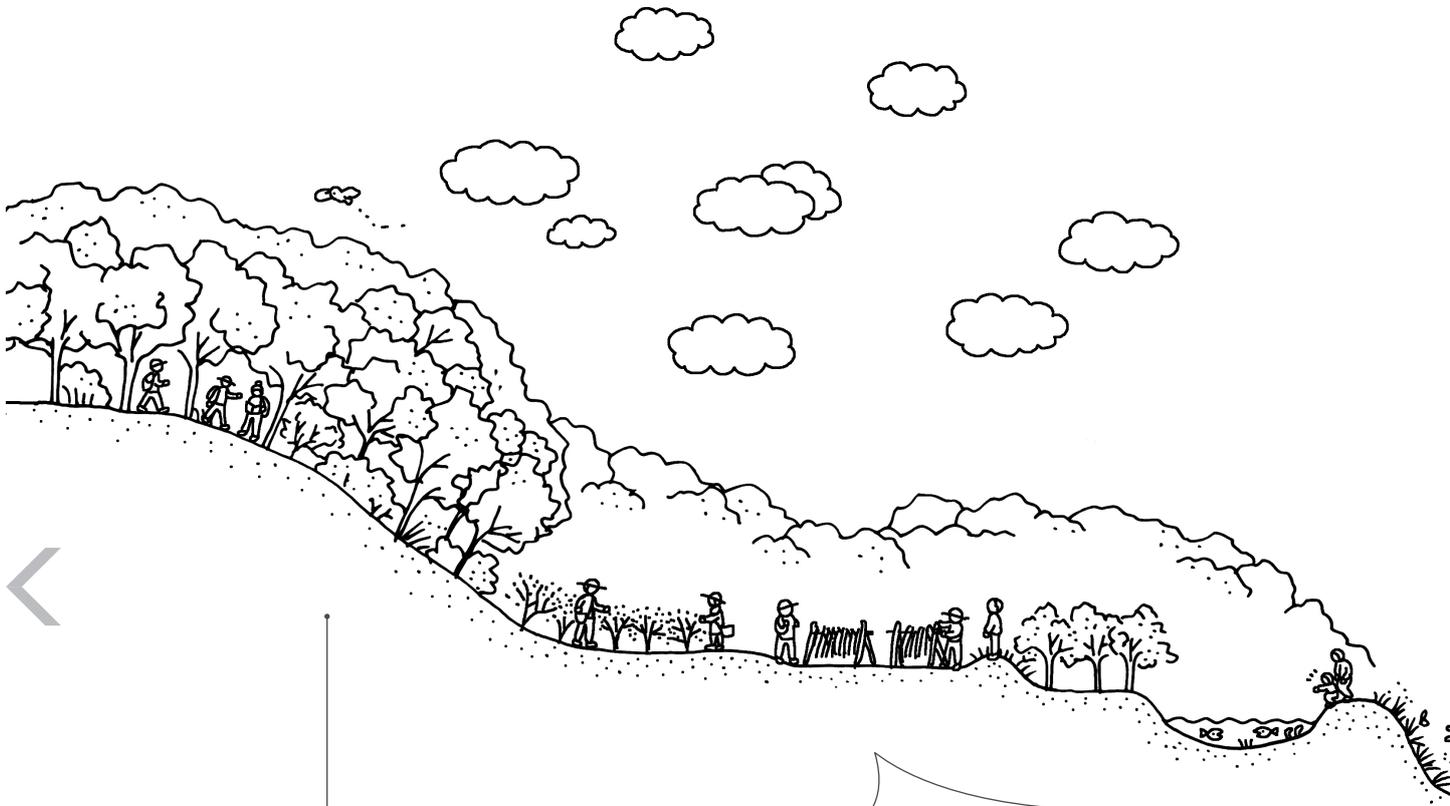
- ・水田や樹林地、古民家などを一体的に保全し、多様な環境でつくられる里山の景観を守ります。
- ・河川敷等を遊歩道や親水拠点として活用して緑や憩いの場をつないでいくなど、心地よい景観をつくります。
- ・「多自然川づくり」などを通して、水・緑や生物多様性を実感できる景観をつくります。
- ・谷戸や丘への視界の広がりなど、眺望を景観づくりにいかします。



ふるさと村周辺地区(寺家・舞岡)

- ・水田や樹林地が一体となり、農村の歴史的景観を守り続けているため、今後ともこの景観を維持保全し、さらに高めていくことを目指します。
- ・ふるさと村や舞岡公園では、古民家を移築するなど様々な景観資源を活用し、積極的に農村の歴史的景観づくりを実践します。





まとまりのある樹林地

- ・眺望の対象となる資源としてまとまりのある緑の景観を保全します。
- ・生き物の生息・生育環境に適した、まとまりのある緑地や水辺の景観を保全します。
- ・樹林地の適切な保全管理により、良好な景観を維持します。
- ・散歩道や展望スポットの整備などにより眺望を楽しむことのできる景観をつくれます。



休日は里山で皆で間伐作業

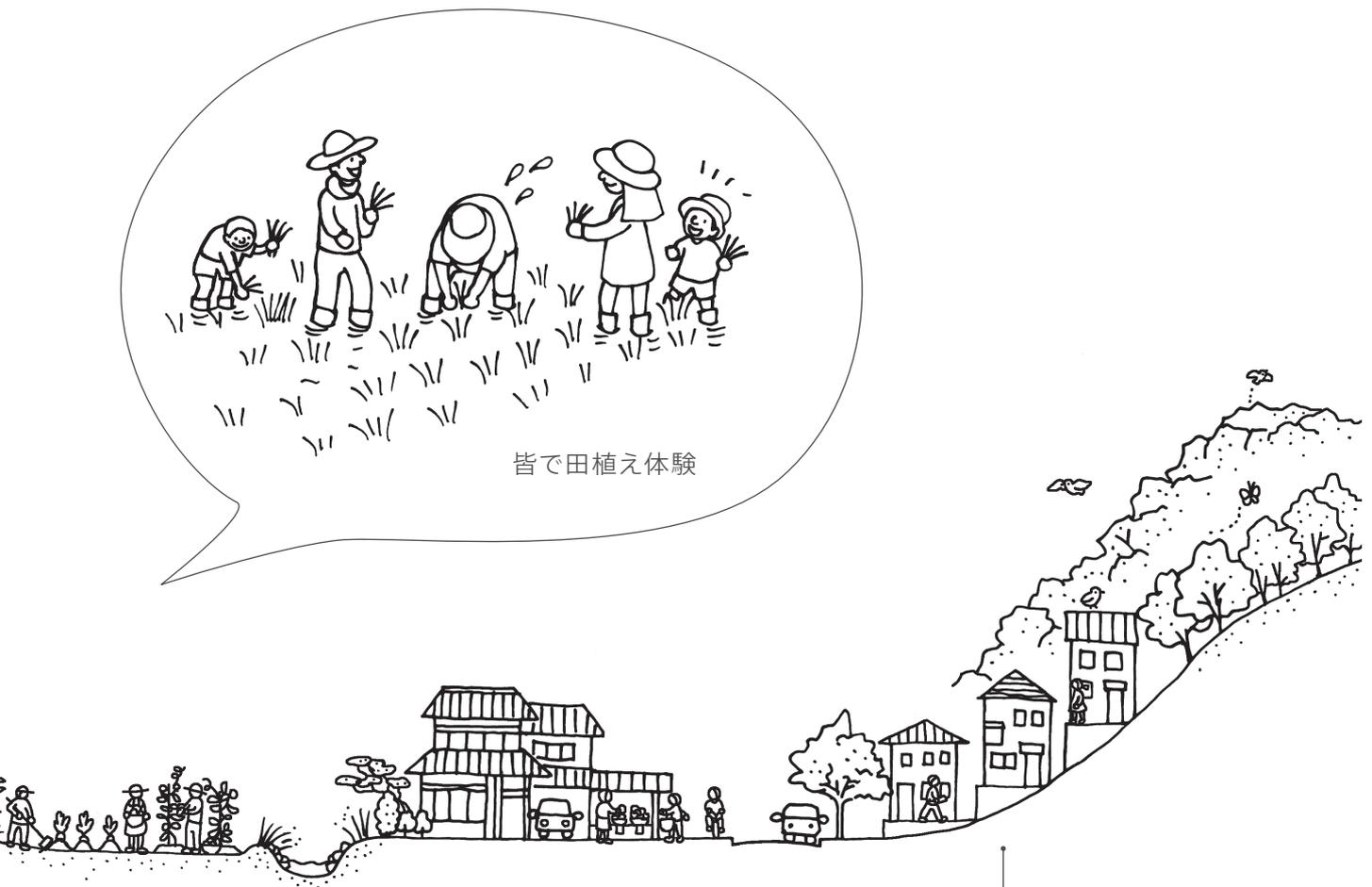


金沢区



緑区

⑥水・緑と農のある郊外



まとまりのある農地

- ・広がりや潤いを感じさせるまとまった水田や畑は、貴重な農景観として保全することを目指します。
- ・まとまった農地の周辺地域については、自然的環境を身近に感じられる景観をつくります。



住宅地

- ・地形や敷地、建物の特性にあわせ、その地域らしい快適な住環境をもたらす景観を守ります。
- ・建物等の形態や色相などの統一により、街並みとして調和のとれた景観をつくります。
- ・自然的資源をいかし、季節感のある景観をつくります。
- ・宅地内の生垣や道路の街路樹など、民有地と公共用地で緑を感じることでできる景観をつくります。





神奈川県 キャベツ畑と農家 (農地/つくる・手入れする/愛着のある)